

まつど未来づくり会議 会議録

分科会名：教育分科会

開催日時：平成 21 年 11 月 7 日（金）17 時 00 分～17 時 35 分

開催場所：松戸商工会館 5 階大会議室

出席委員：海老名みさ子、鎌形武久、神山真理、小林恵美、三枝雅信、
竹島さゑ、難波幸男、橋本恵子、山口和子、関聡、山口明（敬称略）

会議内容

参加者から各分科会へのコメントをメンバーが確認した。

資料：発表を聞いてのコメント（教育分科会へ）

以上

発表を聞いてのコメント（教育分科会へ）

- ・ 家庭教育を市民の役割としてどのように具体的に動かせるか、理解してもらおうのか考える必要がありますね
- ・ 家庭教育の見直しに賛成
- ・ 家庭教育の見直し
- ・ 教育の原点は家庭教育にあるというお話に共感しました
- ・ 家庭教育ができない家庭が増えている。家庭の教育力を高めることが大切
- ・ 教育の原点は家庭・・・その家庭を育てるのが難しいですね
- ・ 家庭教育の見直しという役割が抽象的なので、もう少し表現を工夫しては如何でしょう
- ・ 教育の原点は家庭にある。親は子どもの勉強を出来るだけ見てやるのが大事
- ・ 家庭、学校、地域の新しい関係を通して、他人を思いやる人間として成長できる真の生きる力を引き出す、家庭教育の見直しに共感できる
- ・ 家庭教育の見直しは結構ですが、家庭の中にどうやって入り込むか、難しいですね
- ・ 「教育の原点は家庭」の具体策検討の必要性
- ・ 学校図書館の充実は大変な視点。ぜひこのことの実現を図りたいものです
- ・ 学校図書館の充実に向けて、専門司書の配置が望まれる
- ・ 学校図書館の充実も、物や人が必要。学校司書の配置など
- ・ 図書館の拡大、充実は絶対必要です！！
- ・ 空き教室を利用した図書館づくりに大賛成
- ・ 図書館を必ず充実すべき
- ・ 市の図書館は予算が必要でしょうが、もっと充実させ、子ども、大人も本を読む楽しみを味わってほしい。
- ・ 学校運営への協力とはどのようなことですか？具体的な方法はなんですか？
- ・ 市内にある大学の活用に賛成。どのような活用ができるか（大学側が働きかけるだけでなく市民からもできれば）
- ・ 市内にある大学の活用に共感した
- ・ 宿題道場についてももう少し詳しく説明してください
- ・ 宿題道場とは？名前を変えたほうがよいのでは
- ・ 宿題道場の発想はすばらしい。学童などに出向き、工作や、動植物等の世話等の専門の知識を伝える
- ・ 宿題道場という名称は別として、発想はユニークでおもしろいと思う
- ・ 宿題道場とは何か？宿みたいなものか？学童保育か？
- ・ 宿題道場のネーミングを再検討したいですね
- ・ 宿題道場が唯一の具体的な提案である

- ・ 宿題道場は地域NPOが実施運営するほうが良い
- ・ 宿題道場をつくる
- ・ 宿題道場いいですね。が、行政が開くのではなく、主体は市民、行政は場所提供というのはいかが
- ・ 宿題道場は親やNPO、市民ボランティアがやるのが大事。見てやることの出来ない親もいるので
- ・ 宿題道場についてすばらしいという意見と疑問の方と、学童の宿題を見てはという提案と様々あったので、具体案を出すと良かったと思います
- ・ 松戸の歴史についての指標の例：ガイドボランティアの人数、祭り、イベントなどの行事数、案内板の充実等
- ・ 「心の豊かさ」「他人を思いやる」等、心を大切にすることに共感
- ・ 地域に身近な学校
- ・ 分科会長としての想いに共感いたします。教育分野のみならず、全ての分野も同様と思われま
- ・ 三位一体の連携の中で一番大事なのは家庭教育だと思います
- ・ 家庭、学校、地域の三位一体というが、たやすいことではない。どう地域の教育力を立て直していくのか、家庭の教育力を高めるか難問である
- ・ 家庭、学校、地域が三位一体となって相互の絆を深め未来へ
- ・ 家庭、学校、地域が一体となって信頼を築いていく
- ・ 長いスパンが必要かと思います。地域、学校、家庭の協力が必要
- ・ 市民の役割は具体性がないのでは？社会全体で見守る家庭教育の見直しなど、現在の問題点を裏付けた方法を知りたい
- ・ 中核となるステージが見えない（生涯学習とスポーツ）
- ・ 地域を学校に生かすコーディネーターを誰がする？
- ・ 子どもたちがふるさと松戸を知るために、現地調査をして、〇〇マップをつくり、松戸を愛する心を育てる取組みはどうですか？
- ・ 生涯学習やスポーツを楽しんでいる人は、趣味だけではなく団結力を生かして、ボランティアに参加するような活動の期待をしたい
- ・ 小中の英語教育と松戸在住外の人々の活用
- ・ 生涯学習の場が少ないのでは？
- ・ 教育に必要な学問の基礎をしっかりと
- ・ 教育委員会が地域の力を把握するのは難しいので登録制にするのはどうですか
- ・ スポーツ分野の強化のため指導者を強化し、成果が出るように出来ないだろうか
- ・ スポーツを楽しむといった観点からの議論はなかったのでしょうか？
- ・ 市民は読んだ後の本を寄付したいのだがするところがない
- ・ 文化伝統継承のため子どもたちに伝える努力の支援策は？

- ・ 新提言「うちの子、よその子」の意識を捨て、市民全部で、子育て、教育をする
- ・ 家庭、学校、地域の新しい関係を通して
- ・ 我々の団体では学校に出向いて会員の出前教室を行っています。いろいろの職業の会員がいますので、職業を通しての話をしています
- ・ 教育委員会の役割を見直す必要を感じた
- ・ 教育委員会は学校、それぞれの地域を理解してほしい。クレーマーのためにも
- ・ 教育委員会は、学校が求めている地域の力を調べ、住民に情報発信する
- ・ 技術、能力を出し合って学校、行政に協力する
- ・ 来場数以外にも、自分たちの街の魅力を知っているか？例えば松戸の名所を知っている子どもを増やす
- ・ 親の再教育が必要。親が学校へ無関心な人が多い。子どものために使う時間を確保
- ・ 新市民となる人へ、窓口で「松戸歴史まち紹介」の冊子や講座案内を渡す
- ・ 松戸検定の実現に向けて頑張ってください
- ・ 地域の人がいつでも注意できる環境が必要。無関心な人が多い！
- ・ 地域の力を、小中学校教育にどのように活用するか。中学校単位で幅広い教育を行うため、人材の結集が必要と思う
- ・ 学校経営の面で、地域や家庭との連携がとても大切だと思います
- ・ 教員は教育と集会。雑用は市民で
- ・ 「子どもたちが自らの将来の目標をもち」への具体的方向性がみえません
- ・ 学校運営のしやすいように協力する。学校クレーマーの対策などは？
- ・ 学校の説明責任については？
- ・ 生涯学習について、外国人の方はどのように教えますか？
- ・ 生涯学習はITの活用も検討事項に追加してもらいたい
- ・ 家庭教育の見直しについて、子どもは親を見て育つ部分があり、マナーに問題がある大人の教育が必要
- ・ 生涯学習、スポーツについて、指標にスポーツ施設等の場や、機会増を具体化すべきでは
- ・ 教育の課題は難しそうだ
- ・ 教育が国を作るといっても過言ではない。教育には時間と心を込めよう
- ・ 高校に行きたい子が皆受け入れられるなど、学ぶ権利を有する子どもの視点での環境整備も必要では。親の所得格差があり、公平に学ぶ機会を与えられているかどうか疑問
- ・ 松戸の文化伝統は、子どもたちだけでなく大人にも伝えるように広報等で発表してほしい
- ・ 観光スポットの来場者数の指標は良いですね。指標があれば、いろいろ工夫が出てきり市民も係わるが多くなるでしょう
- ・ 伝統工芸士の活用の部分で、活用という表現には疑問だが、考えは大賛成

- ・ 教育委員会は、地域力を把握し活用する窓口を作る。発想が少し上から目線なのが気になる。協働を重んじたい
- ・ 地域の教育力をレベルアップするための方策を（学校、地域のボランティアで）
- ・ 生涯学習やスポーツについての指標案を追加してほしいです。施設の利用者数、施設の利用率など
- ・ 「地道に、力強く」は全ての分野に共通する心と共感しました
- ・ 「夢を語れる松戸」の教育。予算の配分
- ・ 廃校になった、小中学校の活用
- ・ 積極的に学ぶのが好きな人ばかりとは限らないのでは？その人達にまで強要するの
か？
- ・ 全体的に市民の役割がすばらしいものと感じられた。是非実現してほしい
- ・ 子育て体験を持つ方が多いので、次の世代の親へ体験を伝えることで、核家族が多い松戸での地域の新しい関係づくりはいかがでしょうか？
- ・ 地域力と体験を生かすことが大切
- ・ 教育は生涯にわたり接していくものであるため、長いスパンで実行していく大切さを
想いました
- ・ 子どもが自立する前に、大きい愛情を受けられる街になってほしい
- ・ まつど散歩MAPを作る（コース、時間、距離）
- ・ 地域にあるOBなどの人材を生かす
- ・ 「子供」ではなく「子ども」に統一しましょう
- ・ 今現在子どもたちは大人をどう見ているかといった観点からの議論はありませんで
したか？
- ・ もう少し、学校環境の協議をしてほしかった
- ・ 基本は健康づくりでは？
- ・ 子どもの笑顔があふれる街
- ・ 教育の原点は学校だけではなく家庭の重要性の見直しは必要である（具体性が必要
である）
- ・ 教育に地域力を生かすには、子どもたちとの信頼を築くことが大事だと思います
- ・ 松戸の歴史、文化、伝統の存続
- ・ 生涯学習、スポーツを楽しむために、松戸にある全ての公共施設を有効活用できる
状況を、市民にリアルタイムに開示。利用プロセスを簡単にする
- ・ 放課後の集う場を学校に作り、地域ボランティアの手により学び、遊び、集うこと
ができる居場所を作って欲しい。
- ・ 学校ボランティアの学校側の受け入れ態勢を整えることも、現場では大切なことだ
と考えますが・・・
- ・ 環境整備と不可欠の分野

- ・ 生涯教育の場として、「老人大学」だけでなく、もっと広い分野のカルチャーを提供する講座の必要性（市民が参加して大学作りをする）
- ・ 子どもの教育について、学校・先生のことと触れられていないのはどうですか
- ・ 学校・教育委員会は、どのような市民の協力が必要かを明瞭化することがポイント
- ・ 校長・PTAが代表になってしまうことに同意しかねる市民は巻き込まない。家庭・学校・地域三位一体は実現しないのではないか
- ・ 生涯学習にて第2の人生スタート
- ・ 「地域の力」が大切だと改めて感じた
- ・ 小金南中が16年前から三世代交流会を実施しているが、望む地域力をすでに実施していることに感激している
- ・ PTAは、現在は子どもの保護者が中心であるが、地域に募集して、協働できるようにする
- ・ 親子学級
- ・ 子どもを自立した人間にすることは大事な課題。そのために学校任せにせず学校の支援をすることも大事
- ・ 市民がもつ力を学校教育地域活動に役立てる
- ・ 学校は、地域に求める力の情報発信をする
- ・ 市民は学校に行くことを心がける
- ・ 人材確保が大切であるという点に共感
- ・ 学校は地域社会に開いたものとし、併せて、説明責任を果たすことも重要です
- ・ 総体として「地域の教育力」を高めることが課題だと思います
- ・ 家庭教育、学校教育、社会教育を通じて豊かな子どもの成長を望む
- ・ 社会教育への提言が多く、学校教育への提言が少なかった。宿題道場という言葉に様々なご意見をいただいたのは参考になった
- ・ 教育に必要な学問の基礎をしっかりと、に共感。最低限の基礎学力は豊かな人生には必要！
- ・ 教育についての「芯」「具体性」をもっと討論すればよかった

以上